

平成26年度特別会計決算の概要

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残
国民健康保険事業特別会計	48億2,933万3千円	49億7,647万2千円	△1億4,713万9千円
後期高齢者医療事業特別会計	5億180万6千円	4億9,071万9千円	1,108万7千円
介護保険事業特別会計	33億197万7千円	32億3,078万6千円	6,941万1千円
下水道事業特別会計	6億5,284万8千円	6億5,146万6千円	138万2千円

※国民健康保険事業特別会計の歳入不足額は、平成27年度予算から繰上充用を行いました。

市有財産の状況

(平成27年9月30日現在)

- 土地… 2,690,571.48㎡
- 建物… 176,423.37㎡
- 車両… 87台

基金

- 現金… 2,821,275千円
- 繰替運用金… 0千円
- 貸付金等… 297千円
- 土地… 2,853.29㎡

平成26年度決算による

大川市の財務4表

市では、現行の会計制度に基づく決算の公表に加えて、企業会計的手法の導入により、資産や負債等のストック情報や行政サービスの提供により発生したコスト情報などを表した普通会計分の財務4表を総務省の基準により作成しました。

貸借対照表

年度末時点において、市の資産とその資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを表したものです。

資産(市が保有する資産)		負債(将来世代の負担する金額)	
公共資産	45,853百万円	固定負債	15,144百万円
投資等	3,274百万円	流動負債	1,592百万円
流動資産	3,036百万円	負債合計	16,736百万円
財政調整基金	2,421百万円	純資産 (現世代がすでに負担した金額)	
歳計現金	436百万円		
その他	179百万円	純資産合計	35,427百万円
資産合計	52,163百万円	負債・純資産合計	52,163百万円

市民1人あたりの貸借対照表では、資産の合計は1,449千円となります。一方で、将来世代の負担する負債額は465千円、また、現世代がすでに負担した純資産額は984千円となっています。

純資産変動計算書

市の純資産がどのように増減したかを表したものです。

期首純資産残高	35,096百万円
当期変動高	331百万円
純経常行政コスト	△11,583百万円
財源調達	12,217百万円
その他	△303百万円
期末純資産残高	35,427百万円

期末純資産残高が期首純資産残高から331百万円増加しています。本年度は純経常行政コストを市税などの一般財源及び国県補助金で賄うことができた状態であったことがわかります。

平成27年度 予算の執行状況と経営概況(平成27年9月30日現在)

一般・特別会計予算の執行状況

会計区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	
一般会計	145億2,741万円	66億1,046万円	45.5%	57億6,305万円	39.7%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	58億4,800万円	20億6,283万円	35.3%	24億898万円	41.2%
	後期高齢者医療事業特別会計	5億2,200万円	1億4,244万円	27.3%	1億3,121万円	25.1%
	介護保険事業特別会計	35億3,013万円	15億5,324万円	44.0%	14億2,696万円	40.4%
	下水道事業特別会計	6億2,093万円	4,659万円	7.5%	1億9,874万円	32.0%

上水道事業の経営概況(単位:千円)

▶ 予算執行状況

(収益的収支)		
区分	予定額	上半期執行額
水道事業収益	815,900	378,286
営業収益	780,827	378,151
営業外収益	35,073	135
水道事業費	809,700	229,038
営業費用	725,468	197,106
営業外費用	82,632	31,929
特別損失	100	3
予備費	1,500	0

(資本的収支)

区分	予定額	上半期執行額
資本的収入	7,500	3,896
負担金	7,500	3,896
資本的支出	266,800	90,081
建設改良費	85,347	17
企業債償還金	181,453	90,064

▶ 貸借対照表

(借方)		(貸方)	
資産	6,003,346	負債	3,246,374
固定資産	4,761,934	固定負債	2,367,938
流動資産	1,239,834	流動負債	136,986
繰延勘定	1,578	繰延収益	741,450
		資本	2,756,972
		資本金	978,378
		剰余金	1,778,594
資産計	6,003,346	負債・資本計	6,003,346

▶ 水道事業債現在高

借入先	借入額
地方公共団体金融機構	957,619
財政融資資金	1,411,093
合計	2,368,712

資金収支計算書

現金の流れを示すもので、どのような活動に資金が必要なのかを表したものです。

当期収支	△227百万円
経常的収支	2,298百万円
公共資産整備収支	△714百万円
投資・財務的収支	△1,811百万円
期首歳計現金残高	663百万円
期末歳計現金残高	436百万円

地方税等の収入による経常的収支の黒字分で、公共資産整備収支、投資・財務的収支の赤字分を補ってもなお、全体の資金収支は227百万円の赤字となりますが、前年度の現金残高により補填した結果、最終的な現金残高は436百万円となります。

行政コスト計算書

市の経常的な活動によるコストと行政サービスの使用料・手数料などの収益を表したものです。

経常行政コスト	12,178百万円
人にかかるコスト	2,514百万円
物にかかるコスト	3,298百万円
移転収支的なコスト	6,145百万円
その他のコスト	221百万円
経常収益	595百万円
純経常行政コスト	11,583百万円

経常行政コストの合計額は12,178百万円となっています。内訳をみると移転収支的なコストが最も大きく社会保障給付費や特別会計への繰出金などへの負担が大きいことがわかります。